

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2020.3.2	2020.3.2	2020.3.2	
採取時刻			10:50	11:29	10:14	
全水深(m)			19.3	15.6	15.6	
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	OSCILLATORIALES (5)			
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE 800	1450	800	
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp. 10	25	5	
4	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp. 20			
5			Mallomonas sp. 5			
6			Synura spp. 5	30	+	
7		珪藻	Asterionella formosa +	40	75	
8			Aulacoseira pusilla 20	20		
9			Nitzschia spp. 20	+		
10			Skeletonema potamos 15	35	70	
11			Ulnaria japonica +		5	
12			Thalassiosiraceae-5 300	325	125	
13			Thalassiosiraceae-10 5	15		
14	ユーグレナ植物		ユーグレナ藻	Trachelomonas spp. 10	35	45
15	緑色植物		緑藻	Chodatella quadriseta 5		
16				Closterium spp. +	+	+
17		Eudorina sp. +				
18		Monoraphidium spp. 15			10	
19		Pandorina morum +		16	28	
20		Scenedesmus spp. +		20	20	
21		CHLOROPHYCEAE 170		70	140	
22		CRUSTACEA			1	
23	輪形動物	輪虫		Polarthra spp. +	+	
24	繊毛虫	多膜口		Tintinnidium spp. 17	43	24
25			Tintinnopsis spp. +	1	1	
26			POLYHYMENOPHORA +	+	15	
27			CILIOPHORA +	40	10	
28			不明プランクトン	微小鞭毛藻(5μm以下)	350	300
29		鞭毛藻	500	800	1150	
30		鞭毛虫		50	200	
総数			2267	3321	3123	
種類組成						
		藍藻	0	5	0	
		クリプト藻	800	1450	800	
		渦鞭毛藻	10	25	5	
		黄金色藻	30	30	0	
		珪藻	360	435	275	
		ユーグレナ藻	10	35	45	
		緑藻	190	106	198	
		その他の植物性動物性	850	1100	1550	
			17	135	250	
検査条件						
		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。			
		検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。			
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 						

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			2020.2.12	2020.2.12	2020.2.12		
採取時刻			11:00	11:39	10:15		
全水深(m)			19.4	16.7	15.6		
採水深(m)			0.50	0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	OSCILLATORIALES	(5)			
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	20	190		
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	15	105		
4	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.		+		
5			Synura spp.	+	25		
6		珪藻	Asterionella formosa		+		
7			Aulacoseira ambigua	+	+		
8			Aulacoseira pusilla		+		
9			Skeletonema potamos		+		
10			Ulnaria sp.		5		
11			Thalassiosiraceae-10	5	10		
12			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Phacus sp.		+
13					Trachelomonas spp.	5	5
14			緑色植物	緑藻	Closterium sp.		+
15	Pandorina morum	+			+		
16	Scenedesmus sp.	+					
17	CHLOROPHYCEAE	5			5		
18	輪形動物	輪虫			Polyarthra sp.		+
19	絨毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	7	6		
20			Tintinnopsis sp.		1		
21			POLYHYMENOPHORA		+		
22			—	CILIOPHORA	+	+	
23	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	25	50		
24			鞭毛藻	175	200		
総数			262	592	405		
種類組成			藍藻	5	0		
			クリプト藻	20	190		
			渦鞭毛藻	15	105		
			黄金色藻	0	25		
			珪藻	5	10		
			ユーグレナ藻	5	0		
			緑藻	5	5		
			その他の植物性	200	250		
			動物性	7	7		
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。			
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。			
備考							
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Francia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 							

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			2020.1.9	2020.1.9	2020.1.9
採取時刻			10:32	9:52	11:04
全水深(m)			19.0	15.2	15.2
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50
採水量(ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	OSCILLATORIALES	(10)	(15)
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	10	50
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.		20
4	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+	
5			Synura sp.		5
6		珪藻	Asterionella formosa		+
7			Aulacoseira ambigua	+	150
8			Aulacoseira pusilla	+	30
9			Aulacoseira granulata	+	
10			Melosira varians		+
11			Skeletonema potamos	5	10
12			Ulnaria japonica		
13			Thalassiosiraceae-5		+
14			Thalassiosiraceae-10	15	30
15			Thalassiosiraceae-25	+	+
16	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	10	10
17	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.		+
18			Ankistrodesmus spp.		+
19			Chlorogonium sp.		+
20			Chodatella quadriseta		5
21			Closterium sp.		+
22			Micractinium sp.	+	
23			Pandorina morum		16
24			Scenedesmus spp.	10	20
25			CHLOROPHYCEAE	15	105
26			輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.
27	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	+	+
28			POLYHYMENOPHORA		5
29			CILIOPHORA	5	5
30	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		+
31	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)		50
32			鞭毛藻	100	100
33			鞭毛虫		50
総数			180	676	385
種類組成			藍藻	10	15
			クリプト藻	10	50
			渦鞭毛藻	0	20
			黄金色藻	0	0
			珪藻	20	60
			ユーグレナ藻	10	0
			緑藻	25	25
			その他の植物性	100	200
			動物性	5	15
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 					

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2019.12.9	2019.12.9	2019.12.9	
採取時刻			11:00	10:12	11:45	
全水深(m)			19.6	15.6	15.5	
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	OSCILLATORIALES	(+)	(10)	(5)
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	55	400	150
3	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.		10	
4			Synura spp.		5	30
5		珪藻	Aulacoseira ambigua	+	+	
6			Aulacoseira pusilla	20		
7			Navicula spp.	10		
8			Nitzschia sp.		5	
9			Skeletonema potamos	45		85
10			Thalassiosiraceae-10	+	5	5
11			Thalassiosiraceae-25	+		
12	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	15	35	15
13	緑色植物	緑藻	Pediastrum duplex	+		
14			CHLOROPHYCEAE	20	20	25
15	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.		+	+
16			Synchaeta sp.		+	
17	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis spp.		1	+
18			POLYHYMENOPHORA		+	10
19		-	CILIOPHORA		5	
20	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	150	175	125
21			鞭毛藻	50	100	25
22			鞭毛虫	50	25	20
総数				415	796	495
種類組成			藍藻	0	10	5
			クリプト藻	55	400	150
			渦鞭毛藻	0	0	0
			黄金色藻	0	15	30
			珪藻	75	10	90
			ユーグレナ藻	15	35	15
			緑藻	20	20	25
			その他の植物性動物性	200	275	150
				50	31	30
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 						

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2019.11.25	2019.11.25	2019.11.25	
採取時刻			14:30	15:40	13:20	
全水深(m)			19.1	15.6	15.8	
採水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	OSCILLATORIALES	(5)	(5)	
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	260	380	
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.		5	
4	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+	5	
5			Synura spp.	+	180	
6		ラフィド藻	RAHPHIDOPHYCEAE		+	
7		珪藻	Asterionella formosa		+	
8			Aulacoseira ambigua	+	+	
9			Aulacoseira pusilla	5	+	
10			Nitzschia sp.	+	+	
11			Thalassiosiraceae-10	5	+	
12			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+
13		緑色植物	緑藻	Trachelomonas spp.	440	20
14				Ankistrodesmus sp.		
15	Closterium spp.			5	5	
16	Eudorina sp.					
17	Pteromonas aculeata			5		
18	CHLOROPHYCEAE			60	140	
19	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		1	
20	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.		+	
21			Synchaeta sp.		+	
22			Trichocercidae		1	
23			EUROTATOREA		+	
24	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	1	2	
25			Tintinnopsis sp.		+	
26			—	CILIOPHORA	5	5
27	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	550	100	
28			鞭毛藻	150	250	
29			鞭毛虫	50	50	
総数			1541	1148	1980	
種類組成			藍藻	5	5	
			クリプト藻	260	380	
			渦鞭毛藻	0	5	
			黄金色藻	0	185	
			珪藻	10	0	
			ユーグレナ藻	440	20	
			緑藻	70	145	
			その他の植物性	700	350	
			動物性	56	58	
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 						

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2019.10.3	2019.10.3	2019.10.3	
採取時刻			10:36	11:05	10:00	
全水深(m)			19.1	15.3	15.7	
採水水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(150)	(150)	(210)
2			Coelosphaerium sp.	(5)		
3			Cuspidothrix spp.	(575)	(1450)	(575)
4			Merismopedia spp.	(20)	(5)	
5			Microcystis aeruginosa	+	45	190
6			Microcystis wesenbergii		+	
7			Pseudanabaena spp.	(2500)	(2750)	(1600)
8			Nostocaceae	(15)	(15)	(20)
9			Pseudanabaenaceae	(45)	(65)	(170)
10			CHROOCOCCALES	(10)		(+)
11			OSCILLATORIALES	(4600)	(4300)	(3450)
12	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	120	2150	900
13	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	2	33	5
14			Peridinium spp.	55	240	60
15	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos		+	5
16			Mallomonas spp.	+	210	230
17		ラフィド藻 珪藻	RAHPHIDOPHYCEAE	2	19	
18			Acanthoceras zachariasii	5	5	10
19			Aulacoseira granulata	+		+
20			Nitzschia acicularis	20	+	10
21			Nitzschia spp.	10	10	
22			Ulnaria japonica	1700	1700	2350
23			Urosolenia spp.	10	5	5
24			Thalassiosiraceae-5	300		150
25	Thalassiosiraceae-10	5	15	10		
26	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		+	
27			Trachelomonas spp.	320	320	120
28	緑色植物	緑藻	Acanthosphaera sp.		+	
29			Actinastrum spp.	210	360	60
30			Ankistrodesmus spp.	+	20	20
31			Chlorogonium sp.		5	
32			Closterium spp.	15		35
33			Coelastrum spp.			120
34			Crucigenia tetrapedia	20		
35			Crucigeniella crucifera	40	100	60
36			Dichotomococcus sp.	5		
37			Dictyosphaerium spp.	80	140	20
38			Elakatothrix spp.	10	+	
39			Golenkinia spp.		10	
40			Micractinium spp.	50	180	190
41			Monoraphidium spp.	10		+
42			Mougeotia spp.	390	55	80
43			Oocystis spp.	10	40	30
44			Pediastrum simplex	20		
45			Pediastrum tetras	+	+	
46			Scenedesmus acuminatus	20		
47			Scenedesmus spp.	40	30	20
48			Schroederia spp.	10	5	
49			Staurastrum spp.	1	+	1
50			Tetraedron spp.	10	10	10
51			Tetrastrum elegans			60
52			Tetrastrum spp.	20	20	40
53			Treubaria sp.			5
54		CHLOROPHYCEAE	350	150	350	
55	輪形動物	輪虫	Keratella sp.			+
56			Polyarthra spp.	1	1	3
57			Trichocercidae	1	2	
58			EUROTATOREA	1		
59	繊毛虫	キネトフラクミノーゾア 多膜口	Coleps spp.	1	+	
60			Tintinnidium spp.	1	1	3
61		Tintinnopsis spp.		2	5	
62		POLYHYMENOPHORA		20	20	
63		-	CILIOPHORA	15	5	25
64	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	5		5
65	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	500	750	400
66			鞭毛藻	350	250	200
67			鞭毛虫	250	100	400

採取地		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2019.10.3	2019.10.3	2019.10.3
総数		12905	15743	12232
種類組成	藍藻	7920	8780	6215
	クリプト藻	120	2150	900
	渦鞭毛藻	57	273	65
	黄金色藻	0	210	235
	珪藻	2050	1735	2535
	ユーグレナ藻	320	320	120
	緑藻	1311	1125	1101
	その他の植物性動物性	852	1019	600
		275	131	461
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日		2019.9.3	2019.9.3	2019.9.3		
採取時刻		11:05	10:30	11:29		
全水深(m)		18.3	14.3	14.5		
採取水深(m)		0.50	0.50	0.50		
採水量(ml)		100	100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(25)	(15)	(15)
2			Coelosphaerium sp.	(5)		
3			Cuspidothrix spp.	(1000)	(1500)	(1850)
4			Microcystis aeruginosa	2500	1750	4050
5			Pseudanabaena spp.	(+)	(50)	(3950)
6			Nostocaceae	(750)	(85)	(45)
7			Pseudanabaenaceae	(15)	(25)	(15)
8			CHROOCOCCEALES	(+)	(10)	(10)
9			OSCILLATORIALES	(2350)	(2550)	(3400)
10	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	950	1250	2700
11	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	1	1	9
12			Peridinium spp.	120	85	85
13	不等毛植物	黄金色藻 ラフィド藻 珪藻	Mallomonas spp.	30	40	65
14			RAHPHIDOPHYCEAE			1
15			Acanthoceras zachariasii	5	15	20
16			Nitzschia acicularis		5	
17			Nitzschia spp.	10	5	
18			Staurosirella berolinensis	+		
19			Ulnaria japonica	35	75	25
20			Urosolenia spp.	20		
21	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.		15	+
22			Trachelomonas spp.	200	115	125
23	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	15	+	80
24			Ankistrodesmus sp.			+
25			Chlorogonium spp.	10	30	5
26			Chodatella sp.			+
27			Closterium spp.	15	35	20
28			Coelastrum sp.			+
29			Crucigeniella crucifera			+
30			Dictyosphaerium sp.			20
31			Elakatothrix sp.			10
32			Eudorina spp.	64		48
33			Micractinium spp.	+		+
34			Monoraphidium spp.	10	35	35
35			Oocystis spp.	10		10
36			Pediastrum duplex			+
37			Scenedesmus sp.		10	
38			Schroederia sp.			+
39			Staurastrum spp.	1	2	2
40			Tetrastrum sp.		+	
41			Yamagishiella unicocca	32		
42				CHLOROPHYCEAE	500	420
43	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		1	1
44	輪形動物	輪虫	Filinia sp.			+
45			Keratella spp.	+	1	
46			Polyarthra spp.	1	3	2
47			Trichocercidae	1	2	3
48			EUROTATOREA	+	4	
49	繊毛虫	キネトフラグミノフォア	Coleps sp.			+
50	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.		1	
51			POLYHYMENOPHORA	5	5	10
52			CILIOPHORA	25	20	10
53	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA			+
54	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	225	125	125
55			鞭毛藻	75	25	150
56			鞭毛虫		25	25

採取地		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2019.9.3	2019.9.3	2019.9.3
総数		9005	8335	17121
種類組成	藍藻	6645	5985	13335
	クリプト藻	950	1250	2700
	渦鞭毛藻	121	86	94
	黄金色藻	30	40	65
	珪藻	70	100	45
	ユーグレナ藻	200	130	125
	その他の植物性	300	150	276
	動物性	32	62	51
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2019.8.5	2019.8.5	2019.8.5	
採取時刻			10:25	9:20	11:15	
全水深(m)			14.7	15.8	15.3	
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
	藍色植物	藍藻	Anabaenopsis spp.	(5)	(+)	
			Aphanizomenon spp.	(3450)	(1850)	(3050)
			Aphanocapsa spp.	(150)	(85)	(30)
			Aphanothece spp.	(5)	(5)	
			Coelosphaerium sp.			(+)
			Cuspidothrix spp.	(170)	(215)	(525)
			Dolichospermum spp.		(+)	(10)
			Merismopedia spp.	(10)	(40)	(25)
			Microcystis aeruginosa	3550	3850	11300
			Microcystis wesenbergii	55	+	
			Pseudanabaena spp.	(3800)	(2700)	(2000)
			Nostocaceae	(425)	(70)	(1700)
			Pseudanabaenaceae	(+)	(5)	(5)
			OSCILLATORIALES	(85)	(575)	(375)
	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	750	750	600
	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		5	32
			Peridinium sp.	5		
	不等毛植物	珪藻	Acanthoceras zachariasii		5	
			Nitzschia acicularis	+		
			Nitzschia spp.	5	25	
			Ulnaria japonica	5	10	5
			Urosolenia spp.	55	95	80
	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	80	35	60
	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	40	180	60
			Ankyra spp.	20	25	170
			Closterium spp.	25	15	
			Coelastrum spp.		400	+
			Crucigeniella crucifera		+	
			Elakatothrix spp.	15		25
			Eudorina spp.	2560	448	640
			Micractinium sp.		80	
			Monoraphidium spp.	10	+	20
			Oocystis spp.	+		+
			Pediastrum simplex			+
			Scenedesmus sp.		20	
			Schroederia sp.		5	
			Staurastrum spp.	2	1	15
			Yamagishiella unicocca	1152	288	112
		CHLOROPHYCEAE	265	625	170	
	節足動物	甲殻	CRUSTACEA	2		2
	輪形動物	輪虫	Keratella sp.			1
			Polyarthra spp.	2		1
			Trichocercidae	1		
			EUROTATOREA	1		
	繊毛虫	キネトフラグミノフォーラ	Coleps sp.			+
		貧膜口	SESSILIDA		+	+
		多膜口	POLYHYMENOPHORA		15	5
		-	CILIOPHORA	5		5
	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		5	5
	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	100	75	10
			鞭毛藻	50	50	20
			鞭毛虫		25	30

採取地		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2019. 8. 5	2019. 8. 5	2019. 8. 5
総数		16855	12577	21083
種類組成	藍藻	11705	9395	19020
	クリプト藻	750	750	600
	渦鞭毛藻	5	5	32
	黄金色藻	0	0	0
	珪藻	65	135	85
	ユーグレナ藻	80	35	60
	緑藻	4089	2087	1212
	その他の植物性動物性	150	125	30
		11	45	44
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2019.7.9	2019.7.9	2019.7.9	
採取時刻			11:20	12:15	10:40	
全水深(m)			21.4	15.4	15.9	
採水水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(80)	(95)	(90)
2			Coelosphaerium sp.	(5)		
3			Cuspidothrix spp.	(5)	(+)	(+)
4			Dolichospermum sp.		(5)	
5			Gomphosphaeria spp.	(20)	(25)	(20)
6			Merismopedia spp.	(5)	(10)	(+)
7			Microcystis aeruginosa	325	+	1075
8			Snowella sp.		(5)	
9			Nostocaceae	(105)	(180)	(45)
10			Pseudanabaenaceae	(+)		
11			CHROOCOCCALES	(+)	(25)	(10)
12	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	230	800	2100
13	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		5	17
14			Peridinium spp.		10	20
15	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos		10	10
16			Mallomonas spp.	5	+	20
17			Synura sp.		+	
18			ラフィド藻	RAHPHIDOPHYCEAE		1
19		珪藻	Acanthoceras zachariasi	5	+	
20			Aulacoseira ambigua			+
21			Aulacoseira pusilla	35	+	20
22			Fragilaria crotonensis	+		+
23			Navicula sp.		+	
24			Nitzschia acicularis	+		5
25			Nitzschia spp.		5	10
26			Staurosirella berlinensis	10		
27			Ulnaria japonica	+		
28			Urosolenia sp.			5
29	Thalassiosiraceae-5	100		100		
30	Thalassiosiraceae-10	30	5			
31	Thalassiosiraceae-25	+	5	5		
32	BACILLARIOPHYCEAE	5				
33	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	20	10	20
34	緑色植物	緑藻	Ankyra spp.	165	110	50
35			Chlorogonium spp.	10		
36			Closterium spp.	+	5	+
37			Coelastrum spp.	80	1280	+
38			Crucigeniella crucifera	+	160	80
39			Dictyosphaerium spp.	200		
40			Elakatothrix spp.	20	35	
41			Eudorina spp.		80	64
42			Monoraphidium spp.	20	5	+
43			Oocystis spp.	+	65	10
44			Pediastrum duplex	16	+	32
45			Pediastrum simplex	+		
46			Scenedesmus spp.	30	20	
47			Schroederia spp.	80	55	30
48			Staurastrum spp.			2
49			Yamagishiella unicocca		32	64
50			CHLOROPHYCEAE	170	500	1240
51	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		+	+
52	輪形動物	輪虫	Keratella sp.		+	
53			Polyarthra spp.	1	1	1
54			Trichocercidae			+
55	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+	
56			Tintinnidium spp.		+	1
57		Tintinnopsis spp.		1	1	
58		POLYHYMENOPHORA	25			
59		—	CILIOPHORA	100	10	10
60	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+		5
61	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	350	375	450
62			鞭毛藻	150	75	100
63			鞭毛虫	150	175	500

採取地		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2019.7.9	2019.7.9	2019.7.9
総数		2552	4180	6212
種類組成	藍藻	545	345	1240
	クリプト藻	230	800	2100
	渦鞭毛藻	0	15	37
	黄金色藻	5	10	30
	珪藻	185	15	145
	ユーグレナ藻	20	10	20
	その他の植物性	791	2347	1572
	動物性	276	187	518
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			2019.6.3	2019.6.3	2019.6.3		
採取時刻			10:00	10:34	9:27		
全水深(m)			19.0	15.6	15.7		
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.		(+)		
2			Microcystis aeruginosa		+		
3			Nostocaceae		(+)		
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	525	300	1150	
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		11		
6			Peridinium spp.	5	5	+	
7	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.	10	70	190	
8			Mallomonas akrokomos			15	
9			Mallomonas spp.	+	+	15	
10		珪藻	Acanthoceras zachariasii			+	
11			Aulacoseira ambigua	+	+	+	
12			Aulacoseira granulata			+	
13			Cymatopleura solea			+	
14			Fragilaria crotonensis	520	390	+	
15			Thalassiosiraceae-5	50		25	
16			Thalassiosiraceae-10			+	
17	Thalassiosiraceae-25			+			
18	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		+		
19	緑色植物	緑藻	Trachelomonas spp.	40	30	15	
20			Ankyra spp.	330	190	475	
21			Closterium spp.	+	5	5	
22			Coelastrum spp.			+	40
23			Eudorina spp.	8		+	
24			Gonium spp.	16	16	16	
25			Micractinium sp.			+	
26			Monoraphidium sp.			5	
27			Oocystis spp.	75	30	130	
28			Pandorina morum			+	
29			Pediastrum duplex	16	8	80	
30			Pediastrum simplex	+			
31			Pediastrum tetras	+	+		
32			Pleodorina sp.	32			
33			Scenedesmus spp.	20	80		
34			Schroederia spp.		5	25	
35			Staurastrum spp.	+	4	2	
36			Volvox spp.	2110	790	7080	
37		CHLOROPHYCEAE	12100	3850	6425		
38	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		+		
39	輪形動物	輪虫	Keratella sp.		1		
40			Polyarthra spp.	+	1	+	
41			Trichocercidae		1		
42	織毛虫	多膜口	Tintinnopsis sp.		+		
43			POLYHYMENOPHORA	5	5	5	
44		-	CILIOPHORA	+	+	10	
45	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+			
46	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	600	500	425	
47			鞭毛藻	100	200	25	
48			鞭毛虫	50	10	150	

採取地		提体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		2019. 6. 3	2019. 6. 3	2019. 6. 3
総数		16612	6490	16320
種類組成	藍藻	0	0	0
	クリプト藻	525	300	1150
	渦鞭毛藻	5	5	11
	黄金色藻	10	70	220
	珪藻	570	390	25
	ユーグレナ藻	40	30	15
	その他の植物性	14707	4978	14283
	動物性	700	700	450
		55	17	166
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			2019.4.9	2019.4.9	2019.4.9
採取時刻			10:44	11:26	10:06
全水深(m)			17.9	14.1	14.6
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50
採水量(ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Pseudanabaena sp.		(+)
2			OSCILLATORIALES	(5)	(10)
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	900	2400
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	+	15
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos	80	95
6			Mallomonas spp.		10
7		珪藻	Asterionella formosa		+
8			Aulacoseira ambigua		+
9			Aulacoseira pusilla	10	20
10			Aulacoseira granulata		+
11			Cymbella sp.	+	
12			Gyrosigma spp.	+	1
13			Melosira varians		+
14			Navicula spp.	15	
15			Nitzschia sp.	+	
16			Ulnaria japonica	+	+
17			Thalassiosiraceae-5	425	160
18			Thalassiosiraceae-10	35	20
19			Thalassiosiraceae-25	+	+
20	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	115	210
21	緑色植物	緑藻	Coelastrum spp.	+	+
22			Dictyosphaerium spp.	+	80
23			Elakatothrix sp.		+
24			Monoraphidium sp.		+
25			Oocystis spp.	40	+
26			Pediastrum duplex		+
27			Scenedesmus sp.		+
28			CHLOROPHYCEAE	140	95
29	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		+
30	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.	+	+
31	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis sp.		1
32			POLYHYMENOPHORA	15	15
33	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	500	800
34			鞭毛藻	400	150
35			鞭毛虫	100	400
総数				2780	4370
種類組成			藍藻	5	5
			クリプト藻	900	2400
			渦鞭毛藻	0	0
			黄金色藻	80	95
			珪藻	485	200
			ユーグレナ藻	115	210
			緑藻	180	95
			その他の植物性動物性	900	950
				115	415
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、特徴的な種以外は区別せずに Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 					